

岡村のホスピス運動の思想に迫る企画展

11月7～8日に「第33回日本死の臨床研究会年次大会」が名古屋国際会議場で開催されました。この研究会は、日本における死の臨床の運動やホスピス運動を牽引してきた最も歴史のある研究会です。

大会では、日本におけるホスピスやバイオエシックス運動の先駆的な役割を果たしてきた岡村を顕彰すると共に、岡村の写真や岡村文庫資料を紹介する企画展も行われました。

展示会場には、1,000人を超す入場者があり、岡村が『ホスピスへの遠い道』執筆時に利用した図書や雑誌、海外で購入した貴重な洋書などを紹介することができました。

